

(株)サワエ



専務の澤江隆一さん（右）と常務の田辺博之

「ウチも金型を造りたいんだが協力してくれないか」——金型製造会社サワエの専務取締役澤江隆一さんは、取引先の相談に耳を疑つた。

「取引先が金型を造るようになれば、ウチの会社はいらなくなる。相手もそれをわかっている。相談してくるんです。これは早いところ別の仕事を見つけなければ先はないなと感じました」。

社長以下、社員4名で話し合つて出した結論は、プレス加工を始めるうことだった。それまで輸送する際に使うキャリアーブレース加工まで、貫して行

うことは、小さい電子部品などをまとめて輸送する際に使うキャリアーブレース加工まで、貫して行

うことにしたのだ。
といつても、金型工場がフレス加工を始めるのは容易ではな

い。澤江専務は取引先のフレス加工に日参して技術を学んだだ

う。そして、この技術をマスターしてからは、さらに短納期で納品できるようになったそ

だ。田辺常務は「とにかくこのキャリアーブレースは納期が短く、厳しいのでそれに耐えられる企業

はない。かならず仕事が増えると信じていました。事実、ウチ

がプレス加工もできるとわかる

と、徐々に注文が舞い込むようになってきた」。そうだ。

ちなみに同社は注文を受けて

から納品まで最短で3日、平均1週間で納品できるという。おかげで仕事の幅も広がり、売り上げも右肩上がり。プレス機は毎年、1台ずつ増やし、従業員も増員した。当初4名だった從

成形までの一貫生産で躍進



同社のエンボス成形プレス工場。金型を取り付けるスタッフ

神奈川県

業員は30名にまで増えた。現在、横浜市綱島にあるプレス工場は、3交代制で24時間フル稼働している。

金型製造とプレス加工の両立で、「短納期」「高品質」を実現したサワエ。国内におけるモノづくりのあり方を象徴する優良企業だ。

同社には毎月、訪れていましたが、いつも工場は活気にあふれています。精力的に技術力アップに取り組み、つねに付加価値の高いモノづくりを実践しています。現在は澤江専務と田辺常務が中心となって会社を引っ張り、社長がバックアップして上手に会社を経営しています。

地元の元気企業に聞きました

千葉県

地域経済の現状と今後

普通 → やや上向き



千葉県ではディズニーランドをはじめ、成田山新勝寺、海

たるなどの観光スポ

ットに活気がありま

す。活気があるとい

えば千葉県北西部では、つくばエクスプレスの開業効果で人口が倍増しています。たとえば「柏の葉キャンパス駅」の周辺エリアでは「ららぽーと柏の葉」をはじめ、商業施設が充実しているため、ファミリー層の流入が増加しています。現在も、千葉県と大手デベロッパーが中止となり、計画的な都市整備が進められています。東京大学や千葉大学のキャンパス、各種研究機関も立地していて、産官学民が一体となつたあらたなまちづくりが進められています。



(株)アロマック・ラボ 小泉武史社長

会計人の眼

馬場 英晶
中央会計事務所
(東京都千代田区)

不況下でも大成功を収めた和雑貨販売業

社長のひとこと



QRコード対応のケータイ電話でご覧いただけます。

会社概要

本社・神奈川県横浜市港北区鶴見東4-9号・☎045-543-5225・設立1969年・資本金1000万円・年商約2億円・従業員30名 <http://www1.own.ne.jp/~sawae/>

社長の自社採点

企画開発力 ★★★★☆	人材力 ★★★☆☆
営業力 ★★★☆☆	専門性 ★★★★★
成長力 ★★★★★	リサーチ力 ★★★☆☆
収益力 ★★★★★	計画性 ★★★☆☆
地域貢献力 ★★★★☆	リスクマネジメント ★★★★★

お問い合わせは
コチラから

はスマート

会計人の眼

先日、ある中堅企業が倒産した。不況の影響が長引いている。身近なところでは製造業がとくに打撃を受けている。円高に加え、取引先の生産拠点が海外に移った影響で突然受注がなくなるなど、まったく先が読めないような状況だ。ある携帯電話の部品を製造する企業に聞いてみると「いま

馬場 英晶
中央会計事務所
(東京都千代田区)

不況下でも大成功を収めた和雑貨販売業

一方で業態転換をはかつて好調になった企業もある。もともとは和雑貨や玩具づくりにシフトし成功している。市場を独占している状況だ。単価は安くても数の出る商品は、マーケティングを上手く行けば成功できるという好例だ。もともと持っていたノウハウを上手く利用しつつ、金銭・労働力などのコストを最小限に止めることができれば、この不況下でも勝機はあるはずだ。